

Ⅱ 令和5年度 学校理念

* 別紙「令和5年度 石山中学校 教育ビジョン」参照

2023. 4. 1

はじめに

当校は、生徒一人一人の自他を思いやり、向上しようとする意欲と取組、そして、寄り添い、支援を惜しまない教職員・保護者・地域の方々の協働・努力の積み重ねが相まって、年々活力ある教育がチームとして展開できるようになってきました。教育目標を令和2年度にリニューアルし、新生石山中学校としてスタートして4年目を迎えます。また、同時に、当中学校区の絆を深め、子どもたちを協働して育むために開催してきた「石山の教育を語る会」により、「石山地区で育みたい子ども像」が策定されました。この間、地域ぐるみのあいさつ運動や清掃活動の実施など、幼保小中、関係機関、地域連携の具体も進み、「地域と共に歩む学校」の姿に着実に近づいています。

1 教育目標「自立 共生 挑戦」

3つの「喜び」をつくる

- ・「自立」・・・自尊心（自己肯定感＋自己有用感）を高め自立する生徒
→自分には価値があると思える喜び（人の役に立つ経験を積み重ねる）
- ・「共生」・・・コミュニケーション力を高め共生社会に参加、参画する生徒
→友だちをつくる喜び（人のいいところ見付けて伝える）
- ・「挑戦」・・・新たな価値の創造や課題解決に向けて挑戦する生徒
→できることが増えていく喜び（自立と共生をベースに勇気をふるう）

2 学校経営のスローガン（教育目標や理念を集約した言葉）

喜びをつなぐ

あなたの喜びが、だれかの喜びにつながるように、
今日の喜びが、未来の喜びにつながるように、
学校で学んだひとつひとつの喜びが、「生きる力」となって、明日に、その先の人生の喜びにつながるように、喜びをつなぎます。

「生徒も職員も、みんながそれぞれで、別々」は前提です。その上で、教育活動を展開していく際に、私たちは、何が、どこが一つになれるのか、何で一つになったら嬉しいのかを考えたとき、ルールや規則をトップダウン的に示すよりも、「それぞれ感」を残しつつ「なにか小さなこと」で手をつなぐくらいがちょうどいいと思っています。それが、学校の内外にある嬉しいこと、つまりは「喜び」を共有しながら、分かち合いながら、つなぎながらチームとして一つになっていくことが最高だと考えています。

スローガン達成のために、私たちが意識することは次の5つです。

- 働く目的を、「誰かに喜ばれたい」「共に喜びたい」「喜ぶ人の数を増やしたい」とする。
- 喜びは「成長」や「達成感」、そして、努力したことがまわりの人に評価されること。昨日できなかったことが今日できるようになる。人はそれが一番嬉しい。子どもの「成長」が私たちにとっての一番の喜びである。
- 何が喜ばれる仕事なのかを感じながら働くことが、のびのびとした自分たちの成長の道でもある。
- 学校は「喜び」をつなぐことができる場。学校内外にある「喜び」に共感する。
- 学校が大切にしている価値（喜び）を保護者や地域に伝えて、学校の価値を共に創り、一緒に育て、高めてくれるような「協力者」を増やしていく。

このように、スローガン「喜びをつなぐ」は、仕事の意味や私たちが自信をもっていることについて言語化したものです。この「喜びをつなぐ」という価値観を教職員全員と共有していき、教育という仕事の魅力を高めながら、喜ぶ人の数を増やしていきたいと考えています。

3 令和5年度の基本姿勢

最先端で、びっくりするような派手なことよりも、確実に身に付けさせなければならないこと（不易な部分）を、真心込めて確実に指導したり、地道に、誠実に対応したりしていく。そのために、目玉的なコンテンツではなく、総合的に人を育てる場でありたい。

→ まず、できることをしましょう。できないことよりも先に。

(1) 強み（得意なこと）を活用する

- ・石山中の最大の強みは、「人」と「チームワーク」。何をするにしても大事なものは「人」。いい人が力を発揮できるような「環境」があれば、いい人は力を発揮できるはず。
- ・物事はやった方がいいことの方が実際にやれることより絶対多い。だから、自分たちの得意なことを自覚した上で、「何は何より優先なのか」をはっきりさせること、順番を付けることが重要。

(2) 既存の活動や取組に新しい価値を見出し、イノベーションする

- ・人や学校が良くなる、過ごしやすくなるには、無理しないでできるいくつかのことに、地道に、確実に、誠実に取り組むことが大切。

例えば、

- ① 「AKG」を、「自立 共生 挑戦」を教育目標に掲げる石山中の行動規範であり、約束、誇りでもあり、いろいろなことをうまくいかせる方法であると強調し、「私たちの姿勢」として、生徒にプライドを持って取り組ませる。また、教員も何かに迷ったら、この姿勢やプライドにこだわって行動を決める。

「A：明るく」：人格の明るさは、教師が生徒に受け入れられる前提となる

「K：きれいで」：人を育てるには、「いい環境」が大切

「G：元気」な学校と人：新しい価値を生み出すためには元気でいなければならない

- ② ICTをさらに工夫して活用することで、授業のイノベーションにつなげる。（よりクリエイティブな使い方へステップアップさせる。）

4 3つの「喜び」を生み出すための行動規範（学校の信条）は、「AKG」

「A：明るく」：人格の明るさは、教師が生徒に受け入れられる前提となる

「K：きれいで」：人を育てるには、「いい環境」が大切

「G：元気」な学校と人：新しい価値を生み出すためには元気でいなければならない